

国際子ども権利センター  
カンボジア・スタディツアー2011 冬 参加申込書 (1 枚目)

株式会社ピース・イン・ツアー 御中

別紙取引条件説明書に記載の旅行条件及び旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等その他への提供、およびプログラムの企画・運営に必要な範囲での(特活)国際子ども権利センターへの個人情報の提供について同意の上、申し込みます。

年 月 日

ふりがな	性別	ローマ字名(パスポートと同じ名前 姓 / 名)
お名前	<input type="checkbox"/> 男	
	<input type="checkbox"/> 女	
生年月日 (昭・平 年)	ご職業	
19 年 月 日 ( 才)		
パスポート番号 (大きくご記入ください)	発効日	有効期限
〒	TEL	
現住所	FAX	
	携帯	
<b>※アルファベット・数字・記号 を はっきりご記入ください。</b>		メールリスト登録
Email アドレス(パソコン)	<input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> 携帯 <input type="checkbox"/> 両方	
Email アドレス(携帯)	※重要な連絡(添付資料含)が流れます	
勤務先	住所	〒
(学校名・学部)		
TEL	FAX	携帯
ご旅行中の 国内連絡先	続柄	住所 〒
お名前		
TEL	FAX	携帯
海外旅行傷害保険	■ 加入希望 <b>※今回のスタディツアーではご加入が参加条件となっております。</b>	
	<input type="checkbox"/> 一人部屋希望 ※別途、追加料金(¥8,000)が掛かります。	
お部屋のご希望	<input type="checkbox"/> 相部屋( _____ 様と同室)希望	
	<input type="checkbox"/> 特にこだわらない	
通信欄 (例:食事アレルギー、車椅子のご利用など)		
未成年者のツアー参加承諾書		
株式会社ピース・イン・ツアー 松永 充弘殿		
私は、上記申し込みのツアーに下記の者を参加させることを承諾いたします。また、偶発的な事故や疾病による入院等が発生した場合は、添乗員もしくは企画担当者及び現地係員・ガイドの故意または重大な過失に基づく場合を除き、貴社の責任を追及しません。		
日付: _____ 年 月 日		
参加者氏名: _____		
参加者住所: _____		
保護者氏名: _____ 印		

国際子ども権利センター  
カンボジア・スタディツアー2011 冬 参加申込書 (2 枚目)

シーライツ チャイルド・プロテクション・ポリシー

※本ポリシーに同意していただくことが今回のスタディツアー参加の必須条件になります。  
熟読の上、最下部にご署名いただき、ご送付ください。

すべての子どもに、生きていくために必要な「権利」があります。食べる権利、眠る権利と同じように、子どもたちには、虐待や性暴力といった様々な暴力から守られる権利があります。

この「チャイルド・プロテクション・ポリシー」は、シーライツの理念と国連で採択された子ども権利条約をもとに、私たちがかわる子どもたちが様々な暴力から守られるように、そして私たちが活動の中で知らず知らずのうちに子どもたちの権利を侵害してしまうことのないよう配慮するために作られました。

チャイルド・プロテクション・ポリシーは、シーライツの職員や役員はもちろん、会員、ボランティア、パートナー団体の皆さまや、関係する施設をご訪問いただく方々にも守っていただきますようお願いいたします。

【子どもへの暴力】

- ◆ 子どもを叩いたり、物を投げつけたり、身体的な暴行を加えたりするなど、あらゆる身体的暴力をしない。
- ◆ 現地の文化や慣習の文脈で不適切な愛撫、キス、抱擁、子どもが嫌がるような触り方をしない。
- ◆ 性的な目で見たり、卑猥な言葉を投げかけない。
- ◆ 子どもが性の対象となるような写真を撮ったり、絵を描いたりしない。
- ◆ 不適切、侮辱的、かつ暴力的な言葉を使ったり、提案をしない。
- ◆ 子どもに恥をかかせたり、おとしめたりするなど、精神的な虐待をしない。
- ◆ 全ての子どもに平等に接し、特定の子どものみを可愛がったり、意図的に無視したり、話しかけなかったりしない。

【写真撮影】

- ◆ 訪問先のプロジェクト地において写真撮影を行う場合は、シーライツ・スタッフから許可を得る。
- ◆ 街中などでも、子どもたちにむやみにカメラを向けず、撮る前に相手から許可をもらうこと。特に低所得層の住む地域では特別に配慮する。

【その他】

- ◆ 常に、自分の行動が子どもを傷つける、あるいは、性的虐待ととられるような行動をしてしまう可能性があることに十分に配慮する。
- ◆ シーライツ・スタッフや他の参加者から離れて個別に子どもと過ごさない。
- ◆ 施設の子どもや女性のなかには、性的搾取・虐待、人身売買、暴力の被害者がいることを理解し、会話の内容に十分な配慮をする。また、過去の体験を掘り返すような質問はしない。
- ◆ 文化的背景や子どもたちの過去を配慮し、露出の多い服装を避ける。
- ◆ 子どもへの虐待や搾取が疑われるケースを見たり聞いたりした場合には、ただちにシーライツ・スタッフに知らせる。

私は、上記の事項を厳守することに同意します。

平成 年 月 日 (住所)

(氏名)

